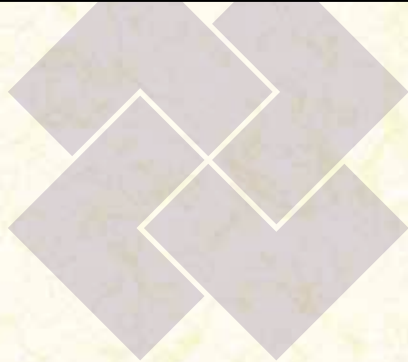
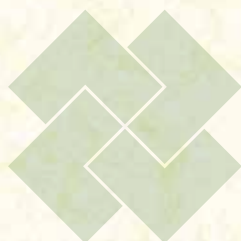


第4章

歩くまち・京都

- 1 「歩くまち・京都」 44
- 2 「既存公共交通」の取組 45
- 3 「歩行者優先のまちづくり」の取組 46
- 4 「ライフスタイル」の取組 47



4-1 「歩くまち・京都」

公共交通の利便性向上や歩行者の安全性の確保、快適な道路空間の構築、地域の特性に応じた公共空間の再配分などにより、クルマを重視したまちと暮らしから「歩く」ことを中心としたまちと暮らしに転換し、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現します。

そのため、2010(平成22)年1月に「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定するとともに、行動規範となる「歩くまち・京都」憲章を制定しました。「歩くまち・京都」総合交通戦略においては、「既存公共交通」、「まちづくり」、「ライフスタイル」の3つの取組を柱に、88の実施プロジェクトを展開しています。

■ 「歩くまち・京都」憲章

「歩くまち・京都」憲章

わたしたちの京都では、市民一人ひとりは、

- 1 健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。

そして、市民と行政が一体となって、

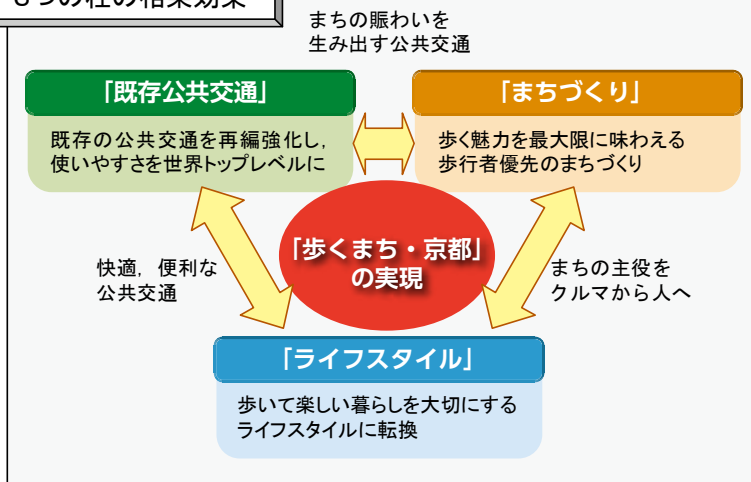
- 1 だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、賑わいあるまちを創ります。
- 1 京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。

平成22年1月23日、「歩くまち・京都」憲章は、市民・観光客の理解、そして事業者、行政が一体となって「人が主役の魅力あるまちづくり」をめぐるための協力を明確にするために制定しました。この憲章は、市議会議員、大学の専門家や有識者、事業者、行政が参加する審議会や検討部会、400人の市民の意見が集まったシンポジウム、そして、14,700人を対象としたアンケート等を通じて市民の知恵と共に議論を重ねることにより作成されたものです。



■ 3つの取組

3つの柱の相乗効果



4-2 「既存公共交通」の取組

■ 市バス・地下鉄の利便性向上

基幹路線(河原町通, 堀川通)において, 市バスのダイヤをわかりやすい, 等間隔運行に調整し, 利便性向上を図るとともに, 民間事業者との連携により, さらに魅力あるバス停となるよう上屋の整備を推進しています。地下鉄では, 2010(平成22)年3月に午後9時~10時台を増便し, わかりやすい時刻設定とするとともに, 烏丸御池駅で, 最終便がすべての方向に乗換可能な「シンデレラクロス」を実施しています。

■ 京都駅南口駅前広場の整備

バス停の集約による鉄道との乗り換え利便性の向上や安全な歩行空間の創造, 駅前広場への流入車両の混雑の解消を図るなど, 使いやすく, おもてなしの心を備えた駅前広場を目指し, 2011(平成23)年3月に「京都駅南口駅前広場整備計画」を策定しました。国際文化観光都市・京都の玄関口にふさわしい駅前広場にリニューアルします。

■ 駅等のバリアフリー化の推進

全ての人が安心・安全で円滑に移動できるまちづくりを推進するため, 駅やその周辺道路, バス車両などのバリアフリー化を推進しています。2002(平成14)年度に策定した「京都市交通バリアフリー全体構想」で選定した「重点整備

■ 地下鉄に設置したエレベーター



地区」14区全てで、駅舎へのエレベーターや多機能トイレの設置を行うなど、2010(平成22)年度までにバリアフリー化が完了しました。平成23年度には、「[歩くまち・京都]交通バリアフリー全体構想」を策定し、10地区の重点整備地区において、引き続き、積極的に駅等のバリアフリー化を推進しています。

4-3 「歩行者優先のまちづくり」の取組

■ 「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進

京都の魅力と活力が凝縮した歴史的都心地区(四条通、河原町通、御池通、烏丸通で囲まれた地区)を中心とした「まちなか」において、安心・安全で快適な歩行空間の確保や賑わいの創出など、人と公共交通を優先した「歩いて楽しいまちづくり」を推進しています。四条通の歩道拡幅と公共交通優先化については、2012(平成24)年1月に都市計画決定を行い、整備に向けた取組を進めています。

■ 「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業

多くの市民・観光客が訪れる東大路通において、「環境」、「景観」、「地域コミュニティ」、「観光振興」等の観点から、道路空間の再構成を行うことにより、安心・安全で快適な歩行空間を創出するとともに、無電柱化やユニバーサルデザインを推進し、地域住民はもとより観光客も含めた「人」が主役の「歩いて楽しい」東大路通を実現するため、2012(平成24)年8月に「東大路通整備構想」を策定し、整備に向けた取組を進めています。

■ パークアンドライド

やむを得ず車を利用される方が、市周辺部の駅近くの駐車場に車を止め、公共交通に乗り換えて目的地まで移動する「パークアンドライド」を2002(平成14)年度から展開しています。市内中心部や観光地へのクルマの流入を抑制するため、近隣自治体や駐車場事業者等と連携して、通年利用できるパークアンドライド駐車場の拡大を図っています。

■ パークアンドライド駐車場



4-4 「ライフスタイル」の取組

■ 「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)

2010(平成22)年度から、市民や観光客の皆さんに向けた大規模なモビリティ・マネジメントを「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)として体系的に実施しています。市民しんぶんやラジオを活用するとともに、宿泊施設や市営駐車場、成人式、運転免許更新時など、あらゆる場所と機会において、市内を運行する電車やバスの便利でお得な情報を提供することなどにより、一人ひとりの交通行動スタイルの変化の意識付けを図り、過度な自動車利用の抑制と公共交通利用の促進を図っています。

■ 公共交通でまわる京都観光マップ

